

16年度岡山県オリエンテーリング協会第2回大会運営全般研修会(地図調査～OCAD作図編)

| 項目 | 時間 | 概要、関連資料等 |
|----------------------------------|-------------|--|
| 1. 初めに | 9:10～9:15 | 「初心者にも配慮したイベントであるとともに、経験者にも満足してもらえる大会を志向し、ホスピタリティある愛好者を育て、かつ会員の資質向上を図りスムーズな世代交代を促進する。 |
| 2. 地図調査 | | |
| (1) 地図規程 | 9:15～9:50 | J SOM2007、JSSOM2007 |
| ・ J SOMとJSSOM | | J SOMは1:15,000が基本、1:10,000は1.5倍にするだけ JSSOMで通過不能は通過禁止、道の概念・等高線・urbanとnonurban等の相違 ・ 留意点(記号の大きさによる誇張、転位、取捨、最小寸法、最少間隔等) |
| (2) 調査技術 | 9:50～11:00 | 地図調査講習会資料、地図調査要領1507 |
| ・ 基礎図 | | 1:2500都市計画図、基盤地図情報、航空レーザ測量データ |
| ・ 調査基準の共通理解 | | 地図のコントロールング、J SOM2000解説資料、他 |
| ・ 調査技術(歩測、角度の測定、高さの測定) | | 地図調査(Dテキスト抜粋) |
| ・ 等高線の修正 | | |
| ・ 走行度の共通理解 | | A:80～100m/30秒、B:60～80m/30秒、C:20～60m/30秒、D:20m以下/30秒 3秒で1/10(エリートで) |
| ・ GPSデータの活用 | | GPS JUNO 3B操作要領および取扱要領 |
| ・ 基盤地図情報、航空レーザ測量等の活用 | | 基盤地図情報の活用、航空レーザ測量資料 |
| ・ 基盤地図情報とは、電子地図における位置の基準となる情報 | | VectorMapMaker |
| ・ 留意点(誇張、転位、取捨と表現の統一、最小寸法、最少間隔等) | | 作図時には転位、最小寸法、最少間隔に特に留意 |
| (昼食) | 12:00～12:50 | |
| (3) GPSロガー測定 | 11:0～ | Trimble GPS PathFINDER JUNO 3B操作要領 |
| 日本測地系(～2000年)と世界測地系(2001年～)に留意 | | |
| (4) GPSデータのOCAD取り込み | | Trimble GPS PathFINDER JUNO 3B取り扱い要領 |
| 地図データと別ファイルにして下絵にする | | |
| (5) フィールド調査 | | フィルムはテラミスTR-300(松原商事)75μ、トンボは必ず3ヶ所以上 シャーペンは0.5mmで2H以上、色鉛筆はMITUBISYIHARD7700番、100円ショップの電動消しゴムが便利 |
| (6) 実習 | | GPSロガー測定、フィールド調査とOCAD取り込み |
| 3. OCAD作図 | 16:00～16:30 | OCADマニュアル |
| (1) OCAD作図 | | 必ずリアルワールド座標にする(平面直角座標系) |
| (2) 実習 | | |

都合で1日のみになったため理論は軽く流し実習で地図調査～取り込み、作図の一通り体験を目標にします。

留意事項

- ・ Oマップは競技者が走りながら現地と地図の対応関係に違和感をいだかないような水準であること。取捨あるいは表現方法のポイントはナビゲーション、コース、コントロールに使えるかで判断。
- ・ 湿地は走行度や地表の開け具合を示す植生記号と複合して使用すること。また、走行度Aのエリアでの荒地地、空地などの地表の開け具合との複合に留意すること。
- ・ Oマップ作成ができることとOCAD操作ができることはイコールではない。OCAD操作は覚えれば簡単。
- ・ フィールド調査後は時間をおかず作図すること。(即日処理の原則)
作図後は必ず現地と照合確認し修正を加え完成させること。(表現の統一、間違い、記載洩れ等)
- ・ Oマップ作成、コース設定、地図調査は深く関連しており、競技規則を含めた規定類全般を熟知しておくこと。加えて競技者の視点での見方も重要であり、優れた競技者は優れた地図調査者になり得る。また、優れたコース設定者、地図調査者は優れた競技者になり得る。
- ・ 地図規程は熟読し、調査時疑問が出た都度読み返し確認すること。
- ・ 調査は安全のため、長袖、長ズボン、長靴、手袋、(麦わら)帽子、蚊取り線香必須。ヘッドライト、棒も重宝。